E 日本学生支援機構

※入学前に入金はありません。
※受給ではなく、貸与になります。
※給付型の奨学金もございます。
詳細は直接日本学生支援機構に
お問い合わせください。

予約採用申込みは
高等学校3年生の
4月～6月下旬
※高等学校によって若干異なりますので、
高等学校の先生にご相談ください。

★第二種奨学金は10月上旬も申込み可能な場合も有。

日本学生支援機構奨学金では、高等学校で予約採用申込みができます。
予約採用申込みはこの時期のみの募集となります。
詳細は高等学校の奨学金窓口にお問合わせください。

高等学校での予約申込の方が
採用される確率も高く有利です。

- 進学後の申込よりも高等学校での予約の方が採用される確率が高く、断然有利です。
  予約申込はお早めに高等学校の先生にご確認ください。
- 進学後の申込では夏からの貸与になりますが、予約奨学金は春からの貸与になります。
- 進学先が確定していなくても申込でき、採用決定後の取り消しも可能です。

2019年3月以降に高等学校を卒業し、その後どこにも進学していない方は、高校生と同じ条件で予約採用の申込みができます。
※出身高等学校が受付窓口となります。

日本学生支援機構(旧 日本育英会)の手続きの流れ

〈 予約採用の方 〉

入 学

4月上旬	新入生ガイダンス時に採用決定通知などの書類を各入学校に提出。
4月上旬～下旬	学生支援機構スカラネットに登録。各入学校で担当者の指導の下、行います。
4～6月	奨学金支給開始

※在籍されている高等学校を通じて予約採用の申込み手続きをして審査の通った方が対象となります。

〈 入学後に申し込む場合 〉

入 学

4月中旬	新規採用ガイダンス
	必要書類を準備
5月上旬	学生支援機構スカラネットに登録。各入学校で担当者の指導の下、行います。
	審 査
7月上旬	奨学金支給開始

※大卒・社会人の方も利用できます。

□ 第一種奨学金(無利息)

◇ 募集に関して

募集時期		毎年 春
貸与月額(私立専門学校)		自宅通学:53,000円 自宅外通学:60,000円 (選択):50,000円 (選択)自宅・自宅外通学:40,000円、30,000円、20,000円
貸与始期		採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。
応募基準	人 物	特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)
	所 得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)
	学 力	〈予約採用〉評定平均値3.5以上など。〈在学採用〉高等学校最終2ヵ年の成績が3.2以上など。 ※家計支持者が住民税非課税である場合を除く
推薦方法		本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

◇ 第一種奨学金・返済例 2年制専攻(専門課程24ヵ月の場合)

		貸与月額	借用金額	返還回数	返還月額
返還例	自宅通学	53,000円	1,272,000円	144回(12年)	8,833円
	自宅外通学	60,000円	1,440,000円	156回(13年)	9,230円

◇ 第一種奨学金・返済例 3年制専攻(専門課程36ヵ月の場合)

		貸与月額	借用金額	返還回数	返還月額
返還例	自宅通学	53,000円	1,908,000円	156回(13年)	12,230円
	自宅外通学	60,000円	2,160,000円	168回(14年)	12,857円

◇ おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第一種奨学金		第二種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	779万円	371万円	717万円	328万円
自宅外4人世帯	824万円	416万円	781万円	373万円

(2018年11月現在)

□ 第二種奨学金(利息付) ※入学後金額変更可能(予約採用の場合)

◇ 募集に関して

併せて、「入学時特別増額貸与奨学金」制度(日本政策金融公庫の「国の教育ローン」の融資を受けられなかった世帯の方が対象)もございます。
※特別増額貸与金額:100,000円、200,000円、300,000円、400,000円、500,000円から選択可能

募集時期		毎年 春
貸与月額(私立専門学校)		次の中から選択でき、貸与中に金額変更が可能です。30,000円/50,000円/80,000円/100,000円/120,000円
貸与始期		採用決定時期は7月頃(予約採用は5月頃)ですが、4月・5月・6月分の貸与を受けることも可能です。
応募基準	人 物	特に優れた学生等であって、経済的理由により著しく就学に困難がある方。(併用貸与も同じです。)
	所 得	日本学生支援機構が定めた収入基準額以下であること。(基準額、算出方法は家族の数や構成によっても異なります。)
	学 力	学習意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがあると学校長が認めた方。学年平均水準以上。
推薦方法		本校から応募基準内の出願者全員を推薦し、日本学生支援機構において選考、採用を決定します。

◇ 第二種奨学金・返済例 (専門課程24ヵ月/36ヵ月、年利3%の場合) 金利:上限3%

貸与希望金額	30,000円／50,000円／80,000円／100,000円／120, 000円(月額)				
返還例	貸与月額	貸与総額	返還回数	返還月額	返還年数
2年間(24ヵ月)貸与の場合	30,000円	720,000円	108回	7,713円	9年
	50,000円	1,200,000円	144回	10,055円	12年
	80,000円	1,920,000円	156回	15,059円	13年
	100,000円	2,400,000円	180回	16,769円	15年
	120,000円	2,880,000円	192回	19,125円	16年
3年間(36ヵ月)貸与の場合	30,000円	1,080,000円	144回	9,050円	12年
	50,000円	1,800,000円	156回	14,117円	13年
	80,000円	2,880,000円	192回	19,125円	16年
	100,000円	3,600,000円	240回	20,185円	20年
	120,000円	4,320,000円	240回	24,222円	20年

◇ おおよその収入・所得限度額表(4人世帯の場合) ※世帯収入

	第二種奨学金		第一種奨学金との併用貸与	
	給与所得	給与所得以外の世帯	給与所得	給与所得以外の世帯
自宅4人世帯	1,122万円	714万円	717万円	328万円
自宅外4人世帯	1,167万円	759万円	781万円	373万円

(2018年11月現在)